

「稲虫おーくりね」 元気よく追いかう

宮川第二保育園

茅野市宮川第一保育園で21日、稲の害虫を追い払い、豊作を願う「稲虫まつり」が行われた。地域の伝統文化に親しむ恒例の活動。2歳児以上の全員で園舎裏の「恐竜の庭」で練習を兼ねた模擬まつりを楽しんでから、年長と年中が地域の人と高部の「ぼんばの池」近くの田んぼに出掛け、太鼓やかねを鳴らし、歌を歌って、悪い虫を追い払った。



虫の絵の旗を振りながら「稲虫まつり」を楽しむ園児

地元の小海嘉介さん(89)の協力で行うようになり、地域交流「さくらの会」で続いている。この日は小海さんから高齢者9人が参加し、かねや太鼓を運ぶのも手伝っていた。園児は自分たちで色を塗ったドロ虫やイナゴなどの旗を手には「稲虫おーくりね、がんがら虫おーくりね、あっちのやーまにおーくりね」と元気よく歌いながら歩いて回った。茅野剛史園長は「地域のことを知る貴重な体験。楽しい思い出として残ることでしょう」と話していた。

稲虫まつりは昔は市内各地で行われたが次第に途絶えた。同園では20年ほど前に、

(自各)食隣香当町ひ文軍里